

中島重 なかしま じゅう 政治學者、法學博士。明治二十一年五月、二百岡山縣高

梁生孔、附刊(二十一年五月)二十九日發(二八八一)九四六)。舊姓柳井。號

胡倒。第一高等學校在學中受洗。大正五年東京帝國大學法科大學獨法

科卒。日本組合本郷基督教會に屬して海老名灘正の影響を受けける。同

志社大學法學部教授兼法學部長となるも、學内紛争から辭任。昭和五

年關西學院大學教授就任。また賀川豐彦と共に共鳴して社會的基督教運動

を指導、雜誌『社會的基督教』の編輯に當る。

著書に『社會的基督教』(昭和八年四月十日岩波書店)、『發展する

全體』(昭和十四年九月)二十五日理想社出版部)、『道徳・宗教と社

會生活』(昭和十八年一月十五日河出書房)『社會科學新大系』、『社

會科學大パンサー』(昭和二十一年十月十五日京都・關西學院)中島重

著作集・第一卷』等。

